

福田 よしお 県政 レポート



編集・発行 福田よしお事務所 〒470-0155 愛知県東郷町白鳥二丁目 4-7
TEL: 0561-39-4407 FAX: 0561-39-4408 e-mail: fukuta440@yahoo.co.jp
ホームページ・Facebookにも活動のようすをアップしてあります。ぜひご覧ください！

令和4年12月定例愛知県議会・愛知県政150周年特集号

輝かしい2023年が始まりました。さて新型コロナウイルス感染症のまん延から3年を経過しましたが、いまだ終息せず感染防止対策の励行など日常生活に大きな影響を及ぼしています。しかし徐々にではありますが、各種イベントや地域行事が再開されるなどウィズコロナ、アフターコロナを見据えた社会活動が始まってまいりました。県としても国の施策に呼応した形で補正予算を編成するとともに、独自に県民、事業者に対する支援を進めています。その概要をお伝えしますが詳細は愛知県議会ホームページをご覧ください。結びに新型コロナウイルス感染症が1日も早く終息するとともに、今年は統一地方選挙の年ですので一層のご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

令和5年から11月27日は「あいち県民の日」



令和4(2022)年は明治5(1872)年に愛知県が誕生してから150周年。令和4年12月定例愛知県議会に「あいち県民の日条例」が上程され可決し、令和5年から毎年11月27日は「あいち県民の日」と決まり「県民が地域の自然、歴史、風土、文化、産業等について理解と関心を深め、愛知への愛着及び県民としての誇りを持つ契機とするとともに、暮らし、教育、労働、経済、環境等が調和した輝く愛知の実現を期する日」とされました。県名の「愛知」は当時の県庁所在地の「愛知郡」からつけられ、「あいち」は「あゆち(吾湯市、年魚市などと表記)」から転じたもので「万葉集」で高市黒人が「年魚市湯」を歌枕にした和歌を詠んだことで知られています。今後、全国の都・道・府・県民の日の対応を参考に、県営施設の入場料割引などの検討を進めています。

愛知県政150周年記念式典及び記念事業



令和4年11月27日愛知県芸術文化センターで記念式典が行われ県政の推進や産業の発展など功績・功労のある1740団体・企業に感謝状が贈呈されました。第二部・記念講演会は「住み続けたい世界一の都市は、ここだ」と題して丹羽宇一郎氏(元地方分権委員会委員長)から愛知県の成り立ちや都市ポテンシャルについてお話をされました。最後に指揮・佐々木新平氏/名古屋フィルハーモニー交響楽団による組曲「惑星」～木星など9曲が演奏されました。また、当日は航空自衛隊ブルーインパルスにより県内各地を記念飛行が行われ、愛知県政150周年を盛り上げました。



令和5年 2月定例会 **愛知県議会**

2月22日(水)～3月20日(月)

主な会議の予定

- 2月22日(水) 本会議 総議理由説明
- 2月23日(木) 本会議 代表質問
- 3月3日(水) 6日(月)～7日(水) 本会議 一般質問
- 3月7日(日)～9日(火) 本会議 議員質疑
- 3月10日(金) 常任委員会 本会議 議案の採決
- 3月13日(月)～14日(火) 常任委員会
- 3月20日(月) 本会議 議案の採決

「愛知県議会ホームページ」を開設しました
イラストやアイコンで新議会の仕組みや
新聞記事などで詳しく紹介しています

「愛知の未来」を応援
「愛知の未来」を応援
「愛知の未来」を応援

新型コロナウイルス感染症
第8波の感染拡大の抑制に向け
医療ひっ迫防止
緊急アピール

実施区域: 愛知県全域

実施期間: 12月8日～1月15日
延長期間: 1月16日～2月19日



令和4年12月定例愛知県議会は12月1日(木)に開会し、20日間の会期を経て12月20日(火)に閉会しました。12月1日(木)新型コロナウイルス感染症対策などにかかる「令和4年度愛知県一般会計補正予算(第12号)」はじめ39件の議案が12月15日(木)に物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策などにかかる「令和4年度愛知県一般会計補正予算(第14号)」はじめ3件の議案が提出されました。また12月16日(金)議会運営委員会提出議案として「愛知県議会の保有する個人情報の保護に関する条例の制定について」の議案を提出。委員会提出議案1件を除くすべての議案は本会議で審議された後、所管の常任委員会に、また請願5件は県民環境委員会及び福祉医療委員会に付託。12月1日(木)に提出された議案39件は12月9日(金)、12日(月)、13日(火)及び14日(水)に、12月15日(木)に提出された議案3件は12月20日(火)に開催された所管の常任委員会においてそれぞれ審査しました。また付託された請願は12月9日(金)に開催された県民環境委員会及び福祉医療委員会において審査。そして9月定例議会において設置された一般会計・特別会計決算特別委員会及び公営企業会計決算特別委員会にそれぞれ付託され、閉会中継続審査とされていた令和3年度決算等は12月7日(水)に採決(認定)。知事提出議案及び委員会提出議案は12月20日(火)に採決(可決)を、また同日「中小企業等の事業再構築に向けた支援の強化について」など5件の意見書案は提案理由説明後採決(可決)し、議会の意思を国政に反映させるため次の5件の意見書を衆参両院議長及び内閣総理大臣始め関係大臣等に提出しました。

- ・中小企業等の事業再構築に向けた支援の強化について
- ・教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度の充実について
- ・带状疱疹ワクチンの定期接種化及び助成制度の創設について
- ・自動運転車の普及促進について
- ・医師確保対策の充実について

採択した請願

- ・「令和5年度愛知県私学振興予算の充実」について
- ・「令和5年度愛知県私立幼稚園関係補助金の充実」について
- ・「『教育の公平』をめざして、学費と教育条件の公私格差を抜本的に是正するために、私学助成の拡充をもとめる」について



12/9 農林水産委員会 一般質問

愛知県における「有機農業」の取組について質問しました。



○質問要旨(福田喜夫)

県は愛知県有機農業計画策定から現在までどのように有機農業の推進に取り組んでいるのか。

答弁要旨(農業経営課長)

これまでの有機農業推進の取組は、農業総合試験場で農薬を減らすことのできる病害虫に強い稲やトマトを始め24品種を育成するとともに、堆肥など有機物の利用技術や農薬に頼らない病害虫の防除技術を開発してきた。また「有機農業の推進に関する法律」の制定をきっかけに県が生産者、消費者、流通関係者に呼びかけ「あいち有機農業推進ネットワーク」が2009年に設立され、月1回のペースで会員が集まり、生産技術や関連施策に関する情報を共有し意見交換を行っている。さらに令和2年度からは現場で農業者を指導する普及指導員が有機JASに関する研修を受講しており、認証制度を理解・指導できる人材の育成と相談体制の整備に取り組んでいる。

○質問要旨(福田喜夫)

愛知県内の有機農業産地づくり推進事業の進捗状況はどのようになっているのか。

答弁要旨(農業経営課長)

本県では「東郷町」と「南知多町」が国の有機農業産地づくり推進事業を活用して、地域ぐるみで有機農業の産地づくりの取組を進めている。この事業は地域における有機農業の取組方針や有機農業の生産、加工、流通、消費に関わる取組をまとめた有機農業実施計画の策定とこの実施計画の実現に



に向けた試行的な取組を支援するもので、「東郷町」では消費者へ理解促進のための親子有機野菜づくり体験を6月から月1回のペースで開催、11月からはスタートアップの人工土壌を活用した露地野菜の栽培実証を開始するなど順調に取組を進めている。南知多町においては有機農業スクール設置の参考にするため先進事例調査を行うとともに、5月には販路拡大に向けて流通業者との連携協定を結ぶなど順調に取組を進めている。県としてはこれらの取組が順調に進むよう引き続き支援していく。

○質問要旨(福田喜夫)

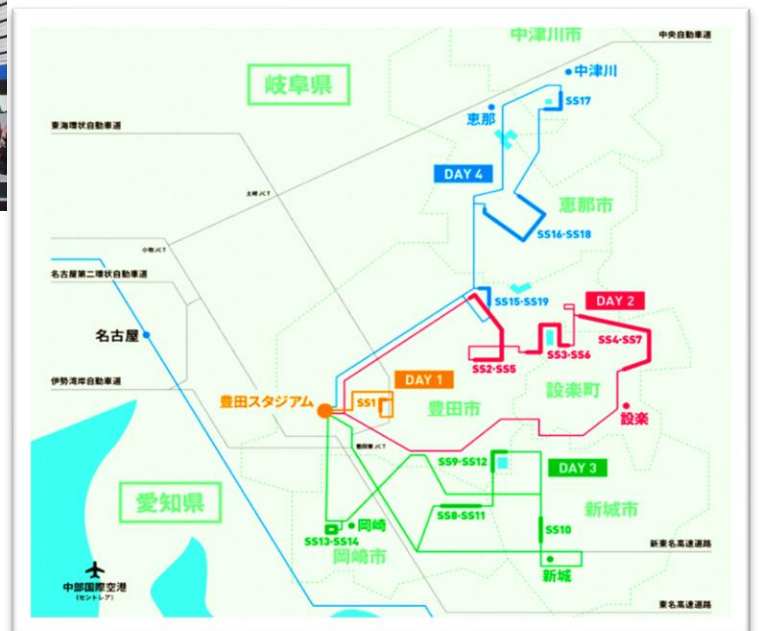
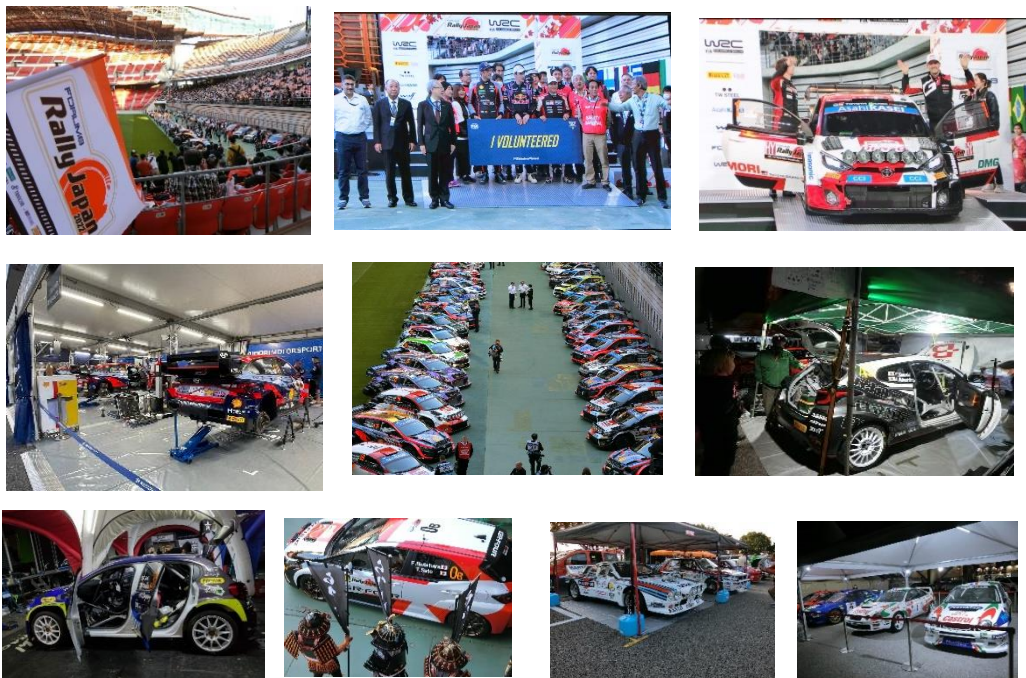
愛知県の現在の有機農業の耕地面積と今後の有機農業の拡大の取組について伺う。

答弁要旨(農業経営課長)

本県の有機農業の耕地面積は2020年度現在で330haであり、耕地面積73,700haに占める割合は0.45%となっている。そこで技術の開発と普及として農業総合試験場が中心となって大学やスタートアップと共同で「あいち農業イノベーションプロジェクト」を進め、肥料や農薬の一層の低減やカーボンニュートラルの実現に取り組んでいく。またモデル産地の育成として産地づくりの取組における先進的な成果を有機農業の推進に前向きな県内の他の市町村に広めることにより、生産から消費まで一貫した地域ぐるみの取組を拡大していく。また消費者の理解促進として有機農業で生産された農産物を求める消費者の声もよく聞かれることから、生産者と消費者とのネットワークの輪をさらに拡大するとともに、有識者を交えた推進体制づくりについて検討を進めていく。県としては関係機関や団体と連携して、これらを総合的に推進することで有機農業の拡大につなげていく。

FIA 世界ラリー選手権(WRC)第13戦「ラリー・ジャパン2022」

2022年11月10日～13日、愛知県及び岐阜県で開催されました。新型コロナウイルス感染症により2年続けて中止となりましたが、今回は豊田スタジアムを大会本部並びにサービスパークとしてラリーカーの整備見学を始め歴代ラリーカー展示やWRCグッズの販売ブースが多数設けられ、連日多くのラリーファンが詰めかけました。また19設定されたSS(スペシャルステージ)の観戦チケットは売り切れ、チケットの入手できなかったファンがラリーカーを一目見ようと、前日のレッキ(試走)も含め移動区間(リエゾン)の沿道に詰めかけました。11月10日午後4時30分「セレモニアルスタート」で参加チームが紹介後スタート台を下り、夜のSS1(鞍ヶ池SS)から競技が開始されました。そしてラリー競技は3日間行われ雨天・霧の最終SS19(旭高原ウルフパワーステージ)を走り切り、多くの観客の待つ豊田スタジアムに戻り「セレモニアルフィニッシュ」「表彰式」が行われ「ラリー・ジャパン2022」は終了しました。結果はヒョンデのティエリー・ヌービルが優勝し日本の勝田貴元(トヨタ)が3位表彰台を獲得しました。[ラリー・ジャパンコース](#)



追伸 WRC(世界ラリー選手権)の愛知県招致は、私が「新城ラリー」開催実績を元に2018年9月県議会本会議一般質問で取り上げ、大村知事の前向きな答弁からスタートし実現したものです。引き続きモータースポーツで地域振興の波及効果が全県に及ぶように、またモータースポーツを交通安全施策としても活かしてまいります。

「パワステがまごおり」目指せ！ニッポンのモンテカルロ

2023年1月22日モータースポーツ地域振興イベントがラグーナ蒲郡で開催されました。これは鈴木寿明市長が地域振興策として新城ラリー主催者のMASC(モンテカルロオートスポーツクラブ)勝田照夫代表に相談され「パワステがまごおり実行委員会」を設立して「ワクワクを共有できるイベントを通じて、未来へ向けた共創を目指す」を目的に短期間で開催準備が進められ、開催当日はなんと！モリゾウこと「トヨタ自動車豊田章男社長」がレーシングスーツ姿で登場してWRC(世界ラリー選手権)に参戦している「GRヤリスWRラリー」でデモンストレーション走行を行いました。鈴木市長、蒲郡警察署長もラリーカーに同乗されテレビインタビューを受けて見えました。また愛知県警音楽隊の演奏、四輪駆動車の体験など車を理解して、安全に運転することを実践するイベント内容でした。さらにスーパーカーや旧車のスカベンチャーラリーが同時開催され、自動車文化の認知が深まりました。



活動Photo



1/4 町民ふれあい年始会



1/8 日進市二十歳の集い



1/8 日進市消防出初式



12/3 NIA インターナショナルデイ
日進市国際交流協会



1/14 愛知駅伝壮行会 (日進市)



1/14 愛知駅伝 (東郷町)



12/4 日進市子ども会大会



12/4 春木台餅つき大会



1/23 連合愛知尾張東地域協議会
自治体要望活動 (東郷町)



1/23 大村ひであき知事候補の日進市・東郷町で応援演説



愛知県議会ホームページは
こちらから見てね